

第4回陽だまり～touch A LIFE～(H29.9.7)ふいかえり

【みんなで寄って話しましょう！】

普段の生活の中で、メンバーが気になっていることを出し合いました。その一部を紹介します。

■菊池校区（町内で人口が最も多い小学校校区、高齢化率 20.9%）は、他の校区に比べると、若い人もいるが、隣組単位でみると、高齢化が進んでいる地域もある。スーパーやコンビニもあり、買い物には困らないとの印象が持たれているが、年に1回の隣組の集まりで、80代の人より「運転免許を返したら、買い物も病院も行けない。どうにかならんかな？」との困りごとを聞いた。いろいろなところから集まった人たちなので、年齢がいきすぎると、ご近所との関係は「お互いにあまり立ち入らない」という感じになる。

■大堰校区（町内で人口が最も少ない小学校校区、高齢化率 32.7%）は、買い物ができる場所が少なく、「困っているのでは？」と心配の声があるが、近隣市町村に住む家族が来て、買い物や病院などに連れていっている。また、地域での結びつきが強く、「誰かが困ったときは誰かが手伝う」という関係ができています。「どこの人はどう」ということがすぐにわかる。

■現在、小地域協議会（行政区単位で実施）で一人暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯を中心に見守りを実施しているが、家族同居の世帯は気になっていても、なかなか声かけられない。

今回、協議体メンバーよりたくさんのお話がありましたが、1人の気になっていることに対し、「うちの近所でも・・・」と話がつながったり、「そうやんね」と共感する声があったりと、1人が感じていることは、意外と他の人も感じていることなのかもしれません。1人の想いだけではどうにもならないことであっても、同じ思いを持った人たちが集まれば、一緒に考え、新たな取り組みにつながっていく可能性もあります。そして、気になっていることや困っていることは、地域の状況や関係性、年代などによって人それぞれ違っています。今後、陽だまり～touch A LIFE～（協議体）では、それぞれのメンバーが気になっていることを深めていけるよう、課題別の取り組みも考えています。その前提として、今回は「協議体がなぜ必要なのか？」を勉強することになりました。



<お知らせ>



★今区 誰でも気軽に参加できる“サロン”に来てみませんか？

9/4（月）より、社会福祉法人希望の丘 地域交流センターまるにじ円虹（海の星保育園旧園舎）で、今区の有志の方々による“サロン”が開催されています。毎月第1月曜日、分館体操終了後～15時頃まで。自由に参加でき、途中で帰ってもOK！老人クラブより、立派な卓球台も寄付していただきました。（※お茶代 ¥100/1回）当日は15名の参加があり、参加された方からは、「ここに来たら、話せなかったことが話せそう」という声もあったとのこと。立ち上げに関わっている鈴木さんは、『来たい』と思えるような寄りあいどころ、困りごとを相談できる場所にできたらいいと話されていました。